

国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和2年度)
様式

作成日 2021/2/26
最終更新日 2021/2/26

記載事項	更新の有無	記載欄
情報基準日		令和3年2月26日
国立大学法人名		国立大学法人熊本大学
法人の長の氏名		原田 信志
問い合わせ先		経営企画本部 (TEL:096-342-3973、E-mail:keiei-senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp)
URL		https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/jouhoukoukai/code

【本報告書に関する経営協議会及び監事等の確認状況】		
記載事項	更新の有無	記載欄
経営協議会による確認		<p>民間企業でのガバナンス・コードに関しては、約5年ほど前から強化されてきており、その流れから法人格を持つ国立大学に対しても、要請が強まったものと思われる。導入時点では今回の取組で求められている事項を満たしていると思われるが、将来的にはさらに独自に運営できる面が増え、独立性が多く認められる代わりに、より一層自らを律することが求められることになるため、不断の見直しを行っていただきたい。</p> <p>【ご意見への対応状況】 強靱なガバナンス体制を構築し、法人としての経営機能を高めていくため、今後も不断の見直しを行う。</p>
監事による確認		<p>熊本大学の経営陣は経営協議会及び監事による確認に先立ち、本ガバナンス・コードに掲げられている全ての項目に係る適合状況について、6回に渡り大学戦略会議（8月27日、9月29日、10月6日、10月13日、10月15日、11月5日）において検討・修正を重ね、その場に監事は陪席した。また、監事は、ガバナンス・コードに記載されている内容どおり正しく情報が公表されているか確認するために大学のホームページ、学内の諸規則、刊行物ともひとつひとつ照合した。その結果、透明性が確保され、具体的な裏付けのあるガバナンス・コード適合状況報告書となっているものと評価する。</p> <p>なお、次の点については対応が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充原則1-4② <p>明文化した方針を定めていない理由の説明が不十分なため、より詳細に説明する必要があるのではないかと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則2-3-2 <p>どのような観点から外部の経験を有する人材を求めているかについて明らかにしていない理由を説明する必要があるのではないかと考える。</p> <p>【ご意見への対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充原則1-4② <p>本報告書において「本学の方針」について説明するとともに、それに基づき経営人材の育成に努めている旨を記載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則2-3-2 <p>どのような観点から外部人材を求めているか、また、その目的に合致する人材を登用したかを記載した。</p>
その他の方法による確認		